

秋田県立博物館収蔵ハイイロウミツバメの入手経緯について

佐々木 均*

1. はじめに

ハイイロウミツバメ *Oceanodroma furcata* は北太平洋・ベーリング海上に生息し、千島列島・コマンドル諸島・アリューシャン列島から北アメリカ西岸域にかけて繁殖する(桐原他 2000)。日本においては、北海道、本州北部(青森)では冬鳥、本州(岩手、宮城、秋田、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、石川、長野、兵庫)には偶発的に渡来し、小笠原諸島、硫黄列島、南鳥島には不定期に渡来するとされている(日本鳥学会 2000)が、生息地が海上であるため、内陸部はもちろん、沿岸部でも観察される機会は非常に少ない。

秋田県では1984年11月20日に大潟村で、1990年3月9日に湯沢市でそれぞれ1羽の衰弱個体が保護されたが、間もなく死亡した(日本野鳥の会秋田県支部 1999)。その後、1998年12月13日に天王町(現潟上市)天王海岸で1羽の死体が発見され、2002年11月28日に横手市で、2002年12月30日に大館市でともに衰弱個体各1羽が保護されたが、死亡した(日本野鳥の会秋田県支部 2009)。

このうち横手市で保護された個体については、筆者にその死体が届けられ、秋田県立博物館の収蔵標本として現在自然展示室に展示されている。本稿では、その入手経緯と、それに関連したいくつかの知見について、次のとおり報告する。

2. 種名・保護個体数

ハイイロウミツバメ *Oceanodroma furcata*・1羽

3. 保護者名

石井政巳・石井瀬里香

4. 保護日時・場所

2002年11月28日早朝・秋田県横手市明永町8-12石井政巳氏自宅前(北緯39°19′, 東経140°34′)。

保護時にはまだ生きていたが、間もなく死亡し、当時秋田県立横手高等学校在学中の石井瀬里香氏が、同校教諭であった筆者に死体を届け出た。

5. 保護された環境

横手市旧市街地の東部に位置する民家で、付近には小規模な水田があり、すぐ東側には農業用水供給用の明永沼・熊堂沼が位置している。

6. 形態に関する記述

全身青灰色で、眼の周辺は黒く、翼の前縁、小雨覆、下雨覆、外側尾羽上面は灰黒色であった(図1~3)。嘴は黒く先端が下に鉤状に湾曲し、嘴峰のほぼ半分の位置にまで管鼻が発達していた(図4)。足は黒く、みずかきがあり、尾は凹尾であった。

また、外傷等は特に認められなかった。

7. 計測値

2002年11月28日に持ち込まれた個体を直ちに計測した結果は、次のとおりであった。全長197mm、翼長158mm、翼開長460mm、尾長90mm、体重44g。また、冷凍庫に保存していた同個体について2002年12月5日には次の各部を測定し、以下の結果を得た。嘴峰14.5mm、嘴高(鼻孔前縁部)5.0mm、嘴幅(鼻孔前縁部)3.1mm、会合線17.8mm、ふ蹠30.3mm。これらの測定結果のうち、翼長、尾長、嘴峰の値は清棲(1952)の記載した範囲内であったが、体重については同記載の50-60gに比べ、かなり小さかった。

8. 標本保管場所

秋田県立博物館(受入番号:生イ22)

9. 考察

本個体が保護される前の2002年10月25日から27

*秋田県立博物館

日にかけて、発達した低気圧が日本海からオホーツク海へ通過して冬型の気圧配置となり、強い寒気も南下して、雨や雪の悪天候が続いていた。本個体は強い西の風によって、内陸部にまで迷行したものと考えられる。

本種の採食生態は、水面近くを飛びながら、小魚、プランクトン、イカ、エビなどを水面に降りることなく嘴でくわえとるとされている（中村他1995）。既述のとおり、本個体の体重は標準より小さかったと考えられ、本来の生息環境とは異なる場所で餌を十分にとることができず、衰弱死亡した可能性がある。

なお、前述の大館市での保護個体について、大館自然の会元会長の明石良蔵氏（故人）から次のような私信が筆者に寄せられた。2002年12月30日6:30頃、大館市下代野（北緯40°17′，東経140°35′）の民家駐車場に積もった雪の中で本種の衰弱個体1羽が保護され、同氏に持ち込まれた。同氏は甘エビ等を与えて体力の回復を試みたが、2003年1月8日に死亡したとのことであった。

約1ヶ月の間に本県内陸部へ複数の個体が迷行したことは興味深く、本種の渡りあるいは移動性を明らかにするうえで、意味のある記録である。今後も本種の記録を注意深く収集していく必要がある。

10. 謝辞

本個体を筆者に届けてくださった横手市の石井政巳氏、石井瀬里香氏、また、貴重な情報をお寄せくださった大館自然の会元会長の故明石良蔵氏

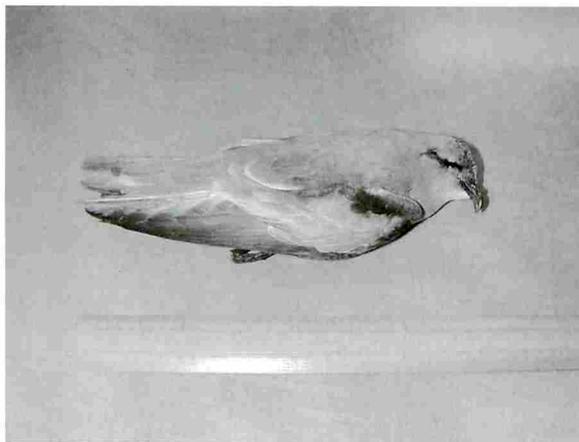


図1 上面（2003年1月9日 佐々木均撮影）

に厚くお礼申し上げる。

11. 引用文献

桐原政志・山形則男・吉野俊幸，2000：日本の鳥550水辺の鳥．文一総合出版．東京．

日本鳥学会，2000：日本鳥類目録改訂第6版．帯広．

日本野鳥の会秋田県支部，1999：秋田県産鳥類目録．

日本野鳥の会秋田県支部，2009：秋田県鳥類目録．清棲幸保，1952：日本鳥類大圖鑑．講談社．東京．

中村登流・中村雅彦，1995：原色日本野鳥生態図鑑<水鳥編>．保育社．大阪．



図2 左翼上面（2002年11月28日 佐々木均撮影）



図3 右翼下面（2002年11月28日 佐々木均撮影）



図4 頭部（2002年11月28日 佐々木均撮影）